

まちづくりをより「自己ごと」に、そしてより多くのステークホルダーを連携したまちづくり事業の促進と持続を目指します

モデル事業担当者のSIBスキーム導入に対する考え方

1. SIB事業に込めた思い

- ・官民共通のビジョンを策定し、その実現フェーズにある
- ・やるべきことが明確な時代 → 何が正解かわからない時代
- ・○○事業として仕様を定めて発注することに限界
- ・時代背景にマッチした発注形式であると認識
- ・まちづくりを自己ごとに

2. SIBスキーム導入の課題/難点

- ・実施事業と効果測定対象の因果関係の強さ
- ・成果指標の設定根拠の説明責任

3. SIBスキームへの自治体としての期待

- ・まちづくり団体の活動への金銭的支援の側面
- ・まちづくり活動の成果の定量化による、活動の発展可能性
- ・民間主体まちづくりの促進、持続

